



' To acknowledge the duty that accompanies every right '
 Affiliated with the International Association of Y ' s Men ' s Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2008年6月No.313
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y ' s THEME (2 0 0 7 ~ 2 0 0 8)	
センテニアルクラブ会長	: 『明日は明日の風が吹く』
東京セントラルクラブ 会長	: 『一人はみんなのために、みんなは一人のために』
国際会長	: 『国境なき奉仕』
アジア会長	: 『国境なき奉仕』
西日本区理事	: 『確信を持って前進しよう!』
中西部部長	: 『Y's運動の源流を求めて!』

クラブ役員	Officers
会長	: 三浦 直之
副会長	: 坂本 哲朗
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 中村 幸枝
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of Jun

主は答えて言われた、「マルタよ、マルタよ、あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている。しかし、無くてはならぬものは多くはない。いや、一つだけである。マリヤはその良い方を選んだのだ。そしてそれは、彼女から取り去ってはならないものである」。

(ルカ10章41節~42節)

感 謝

三浦 直之

私の会長としての任期もあと1ヵ月足らずとなり、この1年間を振り返ると長いようで実に短く感じられるものです。当初、センテニアルクラブの喫緊の課題として財政の赤字問題がありましたが、藤原会計が中心となり、入りを図り、出るを制して黒字転換することができ、感謝申し上げます。又、兼務で忙しい中、例会運営に骨を折ってもらった石津会計、コスト削減を図りつつブリテン編集に腐心してくださった中村ブリテン委員長にお礼申し上げます。もう1つの課題である会員増強(EMC)については、会員増を当初目標におきましたが、入会式を行うことなく終わったことに、大いに責任を感じています。ただ、新年度7月に山中氏(初代会長)の再入会がほぼ確実となり、たいへんうれしく思っています。

ワイズも時の流れに無関係ではいられないのは当然なのですが、我がワイズライフも山あり谷ありで、これからはいろいろなことにチャレンジして自分自身がすこしでもワイズに役立てるよう努力しようと思います。

最後にセンテニアルの皆様のこの1年間のご協力に心より感謝申し上げます。

June Club Meeting

『評価・計画』

6 月 第 1 例 会

日時: 2008年6月18日(水) 18:30 ~ 20:30

場所: ホテルグランヴィア大阪

司会: 隅田 保君

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 開会点鐘 | 三浦 直之 会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 三浦 直之 会長 |
| 4. 聖句朗読 | 石津 雅人 君 |
| 5. 今月の強調活動 | 三浦 直之 会長 |
| 6. 晩 餐 | 一 同 |
| 7. 仮決算報告 | 松浦 孝次 君 |
| 8. 西日本区大会報告 | 参加者から |
| 9. 1分間スピーチ | 全 員 |
| (一年間を振り返って) | |
| 10. 表 彰 | 三浦 直之 会長 |
| 11. インフォメーション | 各担当 |
| 12. お誕生祝い・ニコニコ献金 | |
| 13. 閉会点鐘 | 三浦 直之 会長 |

6 月 第 2 例 会

日時: 2008年6月25日(水) 18:30 ~ 20:30

場所: 大阪 Y M C A 土佐堀会館 4 階

6 月お誕生日: 新保メネット君(28日)

例会担当: 3 班: 石津、松浦、谷川、中村隆、隅田、山村君

【クラブ統計 Statistics】

2008年5月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	12名	6名	5月: 230g	5月: 19,500円
例会出席 12名	メネット	6名	0名	現金 0円	
うちメーカー	ビジター	1名	0名	(07年7月~08年5月の	
0名	ゲ ス ト	1名	0名	累計)切手 1,645g	(07年7月~08年5月の累計)
出席率 70.0%	合 計	20名	6名	現金 5,500円	192,414円

5 月 第 2 例 会 報 告

マルタがイエスを接待しようと忙しく働いている時にマリアは座ってイエスの話を聞いていました。この聖句はマリアが働かないことに、マルタが不平を言った時のイエスの言葉です。マルタはマルタらしく、マリアはマリアらしく仕えていたのではないのでしょうか。それぞれ必要な働きでした。お互いを批判したり不平不満を言ったりするのではなく、お互いに支え合っていることを知らされた聖句でした。

聖句選 コメント：石津 雅人

5 月 第 1 例 会 報 告

日時：08年5月21日(水) 18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア21階「蘭の間」

ホテルグランヴィア2回目の例会。暮れなずむ北大阪の夕景とホテルの和食を楽しみながら、ゲストスピーカー・松下マルタさん(谷川寛メンの紹介)から比較文化論とでもいうべき、味わい深いお話を拝聴しました。

藤原メンの司会。山村メネットの「小さい者を大切に」との聖句紹介。鍛冶田スタッフから今月の強調点「LT」について、調整力より、みんなの主張を引き出す力(ファシリテート)が最近モテますと。納得!

数ヵ月後に本クラブに「復縁」される山中秀男さんの紹介(初代会長をはじめ豊富な経歴をお持ち)が藤原メンからありました。大歓迎!



挨拶をされる山中秀男初代会長

松下マルタさんは、アルゼンチンはアンデス山脈の麓の都市、メンドーサの生まれで、来日30年。同志社大学・言語文化教育研究センター教授。またJICAの講師として、中南米からの研修生を指導されています。

「アルゼンチンの人と社会」について、家族、教育、自然、食物、気質など、幅広く紹介されました。とくに印象に残ったのは、見渡す限り遮るものがない広大な土地と豊富な農作物。家族(夫婦、親子)の強い絆。食事は必ず一緒に、「単身赴任」など考えられぬこと。また自分で考え行動し責任をとる個人主義など。アルゼンチンを一度訪れたくなる、明快的なメッセージでした。

(松浦 孝次)

日時 2008年5月28日(水) 18:30～20:00

場所 土佐堀YMCA

出席者;石津、鍛冶田、藤原、松浦、三浦、山田君

協議事項及び連絡事項

- (1) 7月第1例会強調=キコウ、EMC-C(7/16・水)
 - ・井上 巖 中西部長公式訪問。
 - ・会長 就任式(大村肇君)
 - ・山中秀男君入会式(東京クラブからの転会、手続きは西日本区事務所・北村さんに聞く(石津) 東京クラブ会長の承認をもらう(三浦)
 - ・表現コミュニケーション学科の紹介(鍛冶田学科長)
今後、センテナリアルとしてのかかわり方として、学生と触れあう機会をつくりたい。とりあえず、夏季期間の1日を。各自のできることを挙げてもらう。特にビジュアルなものが受け入れられ易いようである。大村次期会長の方針に含み 予算化する。

- (2) 阿南海洋センター-40周年募金の件

6月22日(日)贈呈式

今後の行事

- ・西日本区大会 6/14(土)～15(日)
奈良100年会館ほか
- ・第5回中西部評議会(新旧合同)
6/21(土)14:00 大阪YMCA9階
(三浦 直之)

6 月 Y M C A ニ ュ ー ス

早天祈祷会

日時 6月20日(金)7:30～8:30 *毎月第3金曜日

証し 梁井豊氏(大阪YMCA常議員)

*祈祷会の前に15分前から聖書輪読会を行っています。

ホストファミリー募集

一般対象日本語夏期集中コースまたは台湾彰化YMCAに本研修グループ

毎年多くの国で幅広い年齢層の人たちが来阪

日程:2008年7月21日(月・祝)～8月9日(土)
午前・20泊

韓国東豆川外国語高校日本語学科 日本研修グループ

日本語を勉強している高校生達が、日本での交流や文化体験を楽しみにしています

日程:2008年7月20日(日)～8月2日(土)午前・13泊

問い合わせ:06(6779)8364 大阪YMCA学院
日本語学科

(鍛冶田 千文)



最近のアルゼンチン事情

5月例会の松下マルタ先生のお話、みなさんの感想はいかがでしたか？

日本からアルゼンチン行には、どのルートをとっても30時間というのは、日本にとって一番遠い国です。私もアジア太平洋 YMCA 同盟会長職にあった時、一度訪問しました。当時、アメリカン航空が関空に乗り入れていましたので、ダラス・フォートオース経由マイアミ乗り換えて訪問したことがあります。

先生のお話にあったように、「南米のパリ」といわれているだけに建物はパリを思わせる白色基調の街。南米でもブラジル辺りと異なりヨーロッパからの白人の国であることを強く印象づけられました。お話にあったように、いくら貧しくとも一日三食たべられるという恵まれた土地。第二次大戦直後は牛肉など農産物の輸出で大変裕福な先進国でした。しかし、政治の貧困と経済政策の失敗から、何回も経済危機を経験。ついに2002年には国家破綻に至りました。

最近と同じ南米でもブラジルの方が元気です。例の新興国家(BRICs)の一翼を担うブラジルは資源国として最近脚光を浴びています。マルタ先生のお話の中に、私たちにとっていくつもの参考になるコメントがありました。例えば、日本では相変わらず「国際化のテーマ」が盛んに議論されています。先生曰く、国際化は議論することだけでなく、いろいろな国、地域の人々と付き合うこと、という明快なお答。また、自分とは異なる人々と付き合うことが社交性を深める近道だとの発言があり、アルゼンチンでは個人主義が徹底しており、自分で考え、自分で行動する。その代わり責任は自分でとる社会であり、個人差を尊重する社会が大切、とありました。大いに参考になりました。

それにしても、質問時間にペロン大統領夫人の「エヴィータ」の話とか、革命家ゲバラなどなどの質問が飛びだすのは、わがクラブの知的レベルの高さかもしれません。先生からのお返事に素晴らしい人々に出会えて感謝します、とありました。

(谷川 寛)



軽快なスピーチをされる松下マルタさん

東京セントラルクラブ5周年記念例会報告

・東京セントラルクラブ5周年記念例会は5月10日(土) 15:00~18:00、アジア青少年YMCAセンターAYC(千代田区猿楽町2)で開催されました。センテナリクラブからはDBCクラブとして、山田メンが代表してお祝い参列し、祝辞を述べました。

私たちのこのDBCの調印は雪の降る東山荘で開催された東西日本区合同集会の席上で結ばれました。

東西日本区理事の立ち合いの下、全国から参加したワイズメンの見守る中で晴れ晴れしく結ばれたことなどの話題に触れてお祝いを述べました。

(山田 孝彦)

5月BFニュース

切手提供者

山田、福永、松浦、藤原、隅田、三浦君
計 230g

今月の殊勲賞：山田君 100g

Club Activities for May, 2008

On May 21, the club's May meeting was held at the Hotel Granvia Osaka, with a total of 20 Y's men, Y's menettes and guests in attendance. We were most happy to see Mr. HIDEO YAMANAKA, the first president of our club among our guests. Mr. YAMANAKA, now member of the Tokyo Y's men's Club will come back to join us from July 1st as he and his wife have moved to Kyoto..

Welcome back, Mr. YAMANAKA! Let's work hard and enjoy Y'sdom together.

With its emphasis on "Leadership Training" this month,

Ms. CHIFUMI KAJITA, our club member and liaison officer of the Osaka YMCA briefed the purposes and meanings of this program.

The highlight of the May meeting was a speech made by Prof. MALTA MATSUSHITA of the Doshisha University in Kyoto. Citing many interesting topics, she plainly told us the history, culture, politics, economy and also social life of her home country, Argentina. With her enthusiasm we've learnt a lot about Argentina, which is far and rather unfamiliar country to us..

Yen 19,500 was collected from the attendees for our club's fund.

大阪センテナリクラブホームページ

<http://m-ishizu.com/ys/>

ニコニコ・メッセージ
【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

20年振りにセンテニアルクラブに戻ってきました。宜しくお願いします。
(東京クラブ 山中 秀男)

会員からのメッセージ

アルゼンチンの興味深いお話楽しく伺いました。

(石津 雅人)

今日はアルゼンチンの興味深い話が聞けて大変良かったです。
(大村 肇)

東京から山中さん、アルゼンチンのマルタさんの出会いのお話し大変楽しかったです。
(鍛治田 千文)

山中さんが7月から戻れるとの事大変うれしく思います。色々なお話を聞かせて頂けることを楽しみにしています。
(坂本 千春)

6月の例会欠席です。6 / 17 ~ 6 / 24 ハワイへ息子と最初で最後の旅行に行ってきます。
(坂本 哲朗)

松下マルタ先生のアルゼンチンのお話とても興味深く伺いました。ありがとうございました。
(隅田 保)

松下マルタ先生の楽しいお話で美しく、広く、豊かな国アルゼンチンへ是非行ってみたいと思いました。もう少し近ければいいのですが。
(隅田 恵子)

松下マルタ先生、山中さんのお二人をゲストに迎え楽しい例会でした。参加者も多く感謝です。
(谷川 寛)

興味ある未知の国、アルゼンチンからの松下マルタさんのお話がすばらしく楽しかった。希少価値のある卓話でした。信じられないほど大きな国羨ましいな。国境以外は山のない大地人々の気持ちも大きい。チャーターメンバーの山中秀男さんがセンテニアルクラブに帰って来て下さることを歓迎します。
(谷川 由美子)

マルタ先生のパワーは楽しいものでした。山中千秋メネット心よりお待ち致しています。メネット会ももっと盛大になるでしょう。
(中村 幸枝)

ワイズソングの曲は石津雅人さんがCDに作り変えてくださいました。感謝です。珍しいアルゼンチンのお話に親しみを感じました。どうも有り難うございました。
(福永 嘉彦)

山中秀男さん、ようこそお帰り頂きました。心から歓迎申し上げます。山中さんがお帰りになって今後クラブ活動が一段と活発になることを期待しております。松下マルタ先生のお蔭で私共のあまり知らなかったアルゼンチンの国情を理解することができ、有難うございました。
(藤原 正巳)

マルタさんのお話、大変興味深く聴かせて頂きました。アルゼンチンは日本から遠くあまりよく知りませんでした。いろいろと勉強させてもらいました。
(松浦 和子)

松下マルタさんのアルゼンチンのスピーチ。ラテンアメリカ諸国は歴史と風土が色々違うことを初めて知りました。さらに立ち入って勉強する価値があるなという感想です。山中様と一緒にクラブライフが送れることをうれしく存じます。
(松浦 孝次)

松下マルタ先生のアルゼンチンと日本の文化のお話大変興味深かったです。山中秀男様の入会(再入会)を心より歓迎いたします。
(三浦 直之)

初代会長の山中君がカムバックされて大歓迎です。われらDBC東京セントラルクラブがチャーター5周年を迎えられました。あの雪の東山荘での交流会のことを懐かしく思います。
(山田 孝彦)

山中さんお帰りなさい。とてもうれしいです。松下マルタさんの楽しいお話ありがとうございました。
(山村 利子)



後記

5月中旬、オーストラリアのブリスベンに、1週間、研修ツアーに参加していました。

話は帰国途上の飛行機のなか。たまたま隣に乗り合わせた一人の青年のことです。

ひょんなことから会話が始まり、彼は小学生のときに父親の転勤でシドニーに移り住んだ21歳の日本人青年だということがわかりました。驚いたことに、彼はいくつもの顔をもっていました。一つはピアニストとしての顔。

HP (<http://www.myspace.com/kumato>) に彼の作った曲を掲載しているというので、さっそく聞いてみました。なかなかのものです。またもう一つは会計士として働く企業マンの顔。そしてこの飛行機に乗っている理由というのは、「世界の空を飛びたい」という小さい頃からの夢にかけ、日本にパイロットの試験を受けに行くのだというのです。「やりたい放題だね」。この大柄な男を見て、すごい若者もいるものだ、と関心しました。

彼の趣味の柔道に話が及んだとき、

「以前、柔道家の篠原信一さんがシドニーに来たとき、稽古をつけてもらったことがあります。」

「それ、いつ？」と聞くと「2年前」。あまりの偶然に驚きました。「その2年前、ぼくはシドニーの空港で篠原と同じ飛行機に乗り合わせたよ。声をかけたら、露骨に嫌な顔をされたけど。そんな嫌がる篠原に白帯ながら無理やり稽古をつけてもらい、写真まで一緒に取ってもらったらしい。この図太い青年のまっすぐな気持ちが、篠原の重厚な心にも届いたのかと思うと、とても愉快的な気持ちになりました。この青年とは再会を誓い関空で別れましたが、心に残る出会いだったので、ちょっと書いてみました。

中村 茂高